

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	18	事例No.	15	依頼者	名古屋市立旭丘小学校	実施場所	名古屋市立旭丘小学校
実施対象	旭丘小学校 4 年生 2 クラス（76 名）						
実施日時	平成 30 年 10 月 10 日（水）8 時 45 分～12 時 20 分（2 クラス別々で 2 限ずつ実施）						
テーマ	チャレンジ！面白エコ工作						

●依頼内容

3R を自分たちにとって身近なものであると実感できるよう、不用品から工作の授業が出来る講師の紹介してほしい。

●講師：(株)山田組 代表取締役 山田厚志氏

(株)山田組は、環境パートナーシップ・CLUB(通称：EPOC)に参加しており、地域に根ざした建設業者としての強みを活かし、環境貢献活動を展開してきている。講師は、チャレンジ面白エコ工作（不用備品・材料を再利用してなんらかの機能ある「かたち」を共同制作し、場合によっては参加する各人が集めてくる）を、依頼者のニーズに合わせて実施している実績がある。

●授業の内容

座学	導入部として	講師の自己紹介及び工作の動機づけの説明ののち、班毎にパーツ分担を設定しました。作成するのは、大型段ボールと子どもたちが家庭で集めた不用品で作る「コロコロゲーム」で、講師の手書きの設計図が事前に学校に渡してあり、作成手順の概略を説明しました。	20 分
実習	パーツ作成	班毎に担当を割りふり、作業に着手しました。講師の指導は、特に難易度の高いボールを投入するスタート部分の担当を中心に行われたが、どの班も分担したパーツ作成作業に集中していました。絵を書き込んだり、ダンボールにカップ麺や飲料の空き容器を付けたり、受け皿をティッシュの空き箱で作成するなどの作業が班ごとに進められました。	70 分 (途中休憩)
	ゲームを満喫	班ごとに作成したパーツを組み合わせて、教室内に巨大なコロコロゲームが出来上がりました。完成後、順番にボールを転がして、入り込む点数によって一喜一憂し、歓声が教室内に広がりました。全員で完成品の周りで記念撮影をしたのち、パーツ毎に解体し、教室内の片づけが行われました。身の回りのもので作成したゲームは、再度組み合わせれば遊ぶことができ、他のクラスと合同で遊ぶこともできるなど、更なる発展の可能性を含んだ不用品の工作でした。	

●授業の様子（1組）

絵を書き込んだり、空き容器を貼りつけたりと、子どもたちの自由な発想で作業は進められました。班ごとに作成した部品をつなぎ合わせることで、大きな作品が出来上がり、力を合わせることの効果を実感していました。その後みんなゲームを楽しみました。

児童たちは生き活きと作業を進める。



コロコロのパーツ作業風景

